

# 9月 えんだより & しょくじだより

## 9月の行事予定



この夏、豪雨により市内では、大きな被害が生じました。被害の傷跡は深く、現状復帰には、ほど遠い地域もあります。被害に遭われた方々に改めてお見舞い申し上げます。

園では、運動会に向けた取り組みが始まっています。当日の競技や演技が、創り出される過程の中で、一人一人に価値ある学びが生まれることを期待しています。

さて、本年度も「やりたいことにチャレンジする子」を目指しているところですが、「やりたいことにチャレンジする子」では、わがままな子が育ってしまうのでは？とご指摘を耳にすることがあります。裏面に考え方を記しましたのでご覧ください。

園長 池田 巧

## 9月の献立

★今月のご飯の日は15日(木)です。

日	曜日	午前のおやつ(未満児)	献立名	午後のおやつ(全児)
1	木	牛乳、りんご	魚のかば焼き、切干大根のゴマネズ和え、冬瓜スープ	☆ お茶、とうもろこし *
2	金	ヨーグルト	豆乳シチュー、スパサラダ、りんご	☆ 野菜ジュース、ドーナツ
3	土	アップルキャラット	チキンピラフ、わかめスープ	☆
5	月	牛乳、ポーロ	ビーフカレーシチュー、トマトとわかめのサラダ、梨	☆ 牛乳、ウインナーマフィン *
6	火	お茶、バナナ	魚のチーズ焼き、ブロッコリーと卵のサラダ、味噌汁	★ ミルクココア、ビスケット *
7	水	プリン	マーボー豆腐、エビシューマイ、ほうれん草のナムル	☆ 2歳児以上 アイスクリーム 0.1歳児 ヨーグルト
8	木	飲むヨーグルト オレンジ	鶏の立田揚げ、糸きりわかめサラダ、卵のすまし汁	☆ 牛乳、きな粉トースト *
9	金	アシドミルク、せんべい	豚肉と大豆の磯煮、大根サラダ、バナナ	☆ りんごジュース、せんべい *
10	土	マスカットパイ	和風スバゲティ、ヨーグルト	☆ お茶、せんべい
12	月	ヨーグルト	豚肉の生姜焼き、トマト、けんちん汁	☆ 牛乳、せんべい *
13	火	牛乳、梨	魚の甘酢ソース、ブロッコリーのごま和え、ポテトスープ	★ ミルク、バームクーヘン *
14	水	野菜ジュース、チーズ	江戸っ子煮、ちりじゃこサラダ、オレンジ	☆ 飲むヨーグルト、バナナケーキ *
15	木	ヤクルト、せんべい	カレーピラフ、肉団子、春雨サラダ、コーンかきたまスープ	☆ 国産ももゼリー、以上児小魚
16	金	お茶、りんご	鶏のみそマヨ焼き、パンプキンサラダ、小松菜のスープ	☆ きな粉プリン *
17	土	果物ジュース	焼きそば、チーズ	☆ お茶、せんべい
20	火	飲むヨーグルト オレンジ	かぼちゃのそぼろ煮、ちくわの磯辺揚げ、わかめスープ	★ ミルクココア、チーズ蒸しパン *
21	水	国産ぶどうゼリー	魚の西京焼き、ほうれん草の納豆和え、味噌汁	☆ 牛乳、源氏パイ *
22	木	ジョア、せんべい	豚肉のケチャップ炒め、りんご、チンゲン菜のスープ	☆ 飲むヨーグルト、せんべい *
24	土	ヤクルト	手作りサンド、牛乳、小魚	☆ お茶、せんべい
26	月	お茶、バナナ	鶏肉のマーマレード煮、和風サラダ、味噌汁	★ ミルク、せんべい 年少組お楽しみおやつ *
27	火	飲むヨーグルト オレンジ	煮込みハンバーグ、粉ふき芋、味噌汁	☆ ハバロア *
28	水	牛乳、ポーロ	魚のつけ焼き、トマトときゅうりのピクルス、キャベツのスープ	☆ りんごゼリー
29	木	りんごジュース、チーズ	中華風五目スープ、小松産大麦入りじゃが芋のマヨ炒め、ぎょうざ	☆ 牛乳、以上児かぼちゃスコーン 未満児ビスケット
30	金	牛乳、りんご	さつま芋のかき揚げ、キャベツの即席漬、すまし汁	☆ 野菜ジュース、せんべい *

日	曜日	園の行事・バス園外
1	木	5歳児 剣道保育
2	金	5歳児 バス園外(中央園地) 布団持ち帰り
6	火	3,4,5歳児 尿検査配布
7	水	3,4,5歳児 尿検査回収 4歳児 花育・種まき活動(こまつの杜)
9	金	布団持ち帰り
16	金	布団持ち帰り
28	水	3,4,5歳児 ちびっこ運動会
30	金	布団持ち帰り

\*コロナウイルス感染状況等により、中止や延期になる場合があります。ご了承ください。

## ●9月28日(水) 9:20~11:30 “ちびっこ運動会”【5.4.3歳児参加】

今年は「みんなで楽しむ、みんなで作り上げる」をテーマに子ども達と一緒に話し合いながらリズム遊びや競争の内容等を進めています。子ども達の“やりたい”という気持ちを大切に、それを存分に保障していく中で、子ども達がそれぞれやってみたくてを發揮できればと思います。またみんなで運動会を作り上げながら、友だちと一緒に身体を動かすことを楽しめられればと思っています。  
 \*ご案内の手紙でもお知らせしましたが、運動会終了後は、現地解散となります。



## ▶運動会のエピソード(～年長組リレーを通して～)

年長児がクラス対抗でリレーをしていた時、Aくんがコースを大幅に離れてしまうと、それを見た同じチームのBちゃんが泣き出してしまったのです。Aくんがコースから離れてしまったことで、他のチームと大幅に差がつき、「負けた」と思ったのでしょうか。しかしBちゃんは、Aくんを責めることもなくみんなの「頑張れー」という大きな声援を聞き、バトンをもらおうと叫びっぱい最後まで走りきりました。結果は僅差で負けしまいました。リレーを通して、友だちと“どうしたら勝てるのだろうか？”などと相談し合う姿も見られます。相手の気持ちに寄り添ったり、自分の思いを相手に伝えたりして折り合いをつけながら進めていければと思います。その中で一つの目標に向かって力を合わせていくことの大切さや、難しさ等葛藤を繰り返しながら様々なことを経験しています。運動会まで子ども達のたくさんの思いや、頑張る姿を見守りながら応援していきたいなと思います。

## 未満児の主食 ご飯…☆ パン…★ \*…0.1歳児の手作りおやつの日

## ●10月13日(木) 9:30~10:30 “保育参加&ミニミニ運動会”

【2歳児(きりん・ぱんだ組参加)】

\*保護者の方も子ども達と一緒に運動遊びを楽しみましょう。詳細につきましては後日お知らせいたします。

## ★お知らせ★

ひばり組 今野保育教諭が8月をもって退職しました。

# 9月 えんだより & しょくじだより

この夏、豪雨により市内では、大きな被害が生じました。被害の傷跡は深く、現状復帰には、ほど遠い地域もあります。被害に遭われた方々に改めてお見舞い申し上げます。

園では、運動会に向けた取り組みが始まっています。当日の競技や演技が、創り出される過程の中で、一人一人に価値ある学びが生まれることを期待しています。

さて、本年度も「やりたいことにチャレンジする子」を目指しているところですが、「やりたいことにチャレンジする子」では、わがままな子が育ってしまうのでは？とご指摘を耳にすることがあります。裏面に考え方を記しましたのでご覧ください。

園長 池田 巧



日	曜日	園の行事・バス園外
1	木	5歳児 剣道保育
2	金	5歳児 バス園外（中央園地） 布団持ち帰り
6	火	3,4,5歳児 尿検査配布
7	水	3,4,5歳児 尿検査回収 4歳児 花育・種まき活動（こまつの杜）
9	金	布団持ち帰り
16	金	布団持ち帰り
28	水	3,4,5歳児 ちびっこ運動会
30	金	布団持ち帰り

\*コロナウイルス感染状況等により、中止や延期になる場合があります。ご了承ください。

## 9月の献立

★今月のご飯の日は15日(木)です。

日	曜日	午前のおやつ（未満児）	献立名	午後のおやつ（全児）
1	木	牛乳、りんご	魚のかば焼き、切干大根のゴマネズ和え、冬瓜スープ	☆ お茶、とうもろこし *
2	金	ヨーグルト	豆乳シチュー、スパサラダ、りんご	☆ 野菜ジュース、ドーナツ
3	土	アップルキャラット	チキンピラフ、わかめスープ	☆
5	月	牛乳、ポーロ	ビーフカレーシチュー、トマトとわかめのサラダ、梨	☆ 牛乳、ウインナーマフィン *
6	火	お茶、バナナ	魚のチーズ焼き、ブロッコリーと卵のサラダ、味噌汁	★ ミルクココア、ビスケット *
7	水	プリン	マーボー豆腐、エビシューマイ、ほうれん草のナムル	☆ 2歳児以上 アイスクリーム 0.1歳児 ヨーグルト
8	木	飲むヨーグルト オレンジ	鶏の立田揚げ、糸きりわかめサラダ、卵のすまし汁	☆ 牛乳、きな粉トースト *
9	金	アシドミルク、せんべい	豚肉と大豆の磯煮、大根サラダ、バナナ	☆ りんごジュース、せんべい *
10	土	マスカットパイ	和風スバゲティ、ヨーグルト	☆ お茶、せんべい
12	月	ヨーグルト	豚肉の生姜焼き、トマト、けんちん汁	☆ 牛乳、せんべい *
13	火	牛乳、梨	魚の甘酢ソース、ブロッコリーのごま和え、ポテトスープ	★ ミルク、バームクーヘン *
14	水	野菜ジュース、チーズ	江戸っ子煮、ちりじゃこサラダ、オレンジ	☆ 飲むヨーグルト、バナナケーキ *
15	木	ヤクルト、せんべい	カレーピラフ、肉団子、春雨サラダ、コーンかきたまスープ	☆ 国産ももゼリー、以上児小魚
16	金	お茶、りんご	鶏のみそマヨ焼き、パンプキンサラダ、小松菜のスープ	☆ きな粉プリン *
17	土	果物ジュース	焼きそば、チーズ	☆ お茶、せんべい
20	火	飲むヨーグルト オレンジ	かぼちゃのそぼろ煮、ちくわの磯辺揚げ、わかめスープ	★ ミルクココア、チーズ蒸しパン *
21	水	国産ぶどうゼリー	魚の西京焼き、ほうれん草の納豆和え、味噌汁	☆ 牛乳、源氏パイ *
22	木	ジョア、せんべい	豚肉のケチャップ炒め、りんご、チンゲン菜のスープ	☆ 飲むヨーグルト、せんべい *
24	土	ヤクルト	手作りサンド、牛乳、小魚	☆ お茶、せんべい
26	月	お茶、バナナ	鶏肉のマーマレード煮、和風サラダ、味噌汁	★ ミルク、せんべい 年少組お楽しみおやつ *
27	火	飲むヨーグルト オレンジ	煮込みハンバーグ、粉ふき芋、味噌汁	☆ ハバロア *
28	水	牛乳、ポーロ	魚のつけ焼き、トマトときゅうりのピクルス、キャベツのスープ	☆ りんごゼリー
29	木	りんごジュース、チーズ	中華風五目スープ、小松産大麦入りじゃが芋のマヨ炒め、ぎょうざ	☆ 牛乳、以上児かぼちゃスコーン 未満児ビスケット
30	金	牛乳、りんご	さつま芋のかき揚げ、キャベツの即席漬、すまし汁	☆ 野菜ジュース、せんべい *

未満児の主食 ご飯…☆ パン…★ \*…0.1歳児の手作りおやつの日

### ★お知らせ★

ひばり組 今野保育教諭が  
8月をもって退職しました。

### ●10月13日(木) 9:30~10:30 “保育参加&ミニミニ運動会”

【2歳児(きりん・ぱんだ組参加)】

\*保護者の方も子ども達と一緒に運動遊びを楽しみましょう。  
詳細につきましては後日お知らせいたします。

### ●9月28日(水) 9:20~11:30 “ちびっこ運動会”【5.4.3歳児参加】

今年は「みんなで楽しむ、みんなで作り上げる」をテーマに子ども達と一緒に話し合いながらリズム遊びや競争の内容等を進めています。子ども達の“やりたい”という気持ちを大切に、それを存分に保障していく中で、子ども達がそれぞれやってみたいことを発揮できればと思います。またみんなで運動会を作り上げながら、友だちと一緒に身体を動かすことを楽しめられればと思っています。  
\*ご案内の手紙でもお知らせしましたが、運動会終了後は、現地解散となります。



### ▶運動会のエピソード(～年長組リレーを通して～)

年長児がクラス対抗でリレーをしていた時、Aくんがコースを大幅に離れてしまうと、それを見た同じチームのBちゃんが泣き出してしまったのです。Aくんがコースから離れてしまったことで、他のチームと大幅に差がつき、「負けた」と思ったのでしょうか。しかしBちゃんは、Aくんを責めることもなくみんなの「頑張れー」という大きな声援を聞き、バトンをもらおうと叫びっぱい最後まで走りきりました。結果は僅差で負けました。リレーを通して、友だちと“どうしたら勝てるのだろうか？”などと相談し合う姿も見られます。相手の気持ちに寄り添ったり、自分の思いを相手に伝えたりして折り合いをつけながら進めていければと思います。その中で一つの目標に向かって力を合わせていくことの大切さや、難しさ等葛藤を繰り返しながら様々なことを経験しています。運動会まで子ども達のたくさんの思いや、頑張る姿を見守りながら応援していきたいなと思います。

大和こども園は、今年度も「やりたいことにチャレンジする子」を目指しています。子どものやりたいことをやらしてばかりでは、わがままになってしまうのではないかと心配になる方もいるのではないかと思います。

今回は、子どもの主体性を生かす教育・保育は、自己中心的な子に育ってしまうのかについてお伝えします。

その前に、子どもの発達と関係する面がありますので、この点からお話ししていきたいと思います。

### **子どもの発達の特性**

子どもは、4歳ごろからの脳の前頭前野が急速に発達してきます。すると、以下のような姿が見え始めます。

- ・昨年度の年中組の運動会でのかけっこ。ゴールを目指して走る競技ですが、ある子は、ゴール間近になったにもかかわらず、遅れて走っている子が心配だったようで急にUターンし、手を繋ぎ一緒にゴール。
- ・今年度、年中組の7月の泥遊び。雨どいを使い、水を流す遊びに発展し、泥団子を雨どいに流すと泥団子がすぐに溶ける（崩れてなくなる）ことに気付く。はやく溶けなくなる方法を石を混ぜたりしながら、試行錯誤し探り始める。すると、ある子は、はやく溶けてしまう理由を泥団子に混ぜる水の量と関係づけて考えた。

最初の姿は、自分のゴールより、友達の気持ちを想像し、押し量った心の働きが伺えます。2つ目の姿は、自然の事象の要因を探り事象が生じる理由を他の要因と関係づけて説明しようとする科学的な思考の一つです。この時期では、友達の気持ちを理解したり、深く考えたりすることができるようになる等、思考力や想像力が発達し、少し先のこと（将来のこと）も予測できるようになってきます。

### **主体性を生かした教育・保育で育まれる協調性や思いやりの心**

乳児期のように自己の欲求に依存した行動が、年齢が大きくなっても続

けば、「わがままな人」になってしまいます。しかし、今ほどお話ししたように4歳児頃から脳の発達により、思考力や判断力が育まれてきます。このような時期に、やってみたいことを行う中で生じる課題（どうしたらうまくなるか、どうしたらみんなで楽しめるか、どうしてそうなるのか等）を考え、子ども自らで試行錯誤する経験を多く積ませることが、脳の前頭前野を適度に働かせることになり結果として思考力・想像力、判断力等様々な能力が育まれていきます。また、このような経験には、必ずといって友達との関わりが生じます。そのため、協調性や他人の痛みを想像した思い一方、大人の指示が多いと、その指示に従っていればよいという安易な気持ちが強くなり、自分で考えたり判断したりすることが苦手になってしまいます。また、大人がよかれと思って何でも先回りしたりすることは、考えたり判断したりする経験の場を削ぎ取ってしまうことになりがちです。大人の過干渉がよくないと言われるのはこのためです。子どもの求めに対して、すぐに答えを出すのではなく「あなただったらどうしたい？ どう考える？」と問い返し、子ども自らの判断を尊重していくような大人の関わりが大切なのかもしれません。

「やりたいことにチャレンジする子」が目指す教育・保育は、好きなことを好き勝手にさせる教育・保育ではなく、子どものもつ主体性を生かしながら、意図的にその年齢に応じた経験を積ませる（環境を通して行う）教育・保育なのです。他を思いやる気持ちは確実に育っていきます。

さらに、全国多くの実践例から子どもの主体性を生かした保育実践は、利己的な人間が育つのではなく、他者を大切にする、協調性等が育つことが認められています。（神戸大学大学院人間発達環境学研究科 北野幸子氏講演から）

ただし、子どもの主体性に委ねてばかりでは、身に付かないことがあります。例えば、園では、地震や火事等の災害から身を守る方法、道具の使い方（スプーンや箸、ハサミ等の持ち方・使い方）等は、保育者が積極的に関わるようにしています。

大和こども園は、今年度も「やりたいことにチャレンジする子」を目指しています。子どものやりたいことをやらしてばかりでは、わがままになってしまうのではないかと心配になる方もいるのではないかと思います。

今回は、子どもの主体性を生かす教育・保育は、自己中心的な子に育ってしまうのかについてお伝えします。

その前に、子どもの発達と関係する面がありますので、この点からお話ししていきたいと思います。

### **子どもの発達の特性**

子どもは、4歳ごろからの脳の前頭前野が急速に発達してきます。すると、以下のような姿が見え始めます。

- ・昨年度の年中組の運動会でのかけっこ。ゴールを目指して走る競技ですが、ある子は、ゴール間近になったにもかかわらず、遅れて走っている子が心配だったようで急にUターンし、手を繋ぎ一緒にゴール。
- ・今年度、年中組の7月の泥遊び。雨どいを使い、水を流す遊びに発展し、泥団子を雨どいに流すと泥団子がすぐに溶ける（崩れてなくなる）ことに気付く。はやく溶けなくなる方法を石を混ぜたりしながら、試行錯誤し探り始める。すると、ある子は、はやく溶けてしまう理由を泥団子に混ぜる水の量と関係づけて考えた。

最初の姿は、自分のゴールより、友達の気持ちを想像し、押し量った心の働きが伺えます。2つ目の姿は、自然の事象の要因を探り事象が生じる理由を他の要因と関係づけて説明しようとする科学的な思考の一つです。この時期では、友達の気持ちを理解したり、深く考えたりすることができるようになる等、思考力や想像力が発達し、少し先のこと（将来のこと）も予測できるようになってきます。

### **主体性を生かした教育・保育で育まれる協調性や思いやりの心**

乳児期のように自己の欲求に依存した行動が、年齢が大きくなっても続

けば、「わがままな人」になってしまいます。しかし、今ほどお話ししたように4歳児頃から脳の発達により、思考力や判断力が育まれてきます。このような時期に、やってみたいことを行う中で生じる課題（どうしたらうまくなるか、どうしたらみんなで楽しめるか、どうしてそうなるのか等）を考え、子ども自らで試行錯誤する経験を多く積ませることが、脳の前頭前野を適度に働かせることになり結果として思考力・想像力、判断力等様々な能力が育まれていきます。また、このような経験には、必ずといって友達との関わりが生じます。そのため、協調性や他人の痛みを想像した思い一方、大人の指示が多いと、その指示に従っていけばよいという安易な気持ちが強くなり、自分で考えたり判断したりすることが苦手になってしまいます。また、大人がよかれと思って何でも先回りしたりすることは、考えたり判断したりする経験の場を削ぎ取ってしまうことになりがちです。大人の過干渉がよくないと言われるのはこのためです。子どもの求めに対して、すぐに答えを出すのではなく「あなただったらどうしたい？ どう考える？」と問い返し、子ども自らの判断を尊重していくような大人の関わりが大切なのかもしれません。

「やりたいことにチャレンジする子」が目指す教育・保育は、好きなことを好き勝手にさせる教育・保育ではなく、子どものもつ主体性を生かしながら、意図的にその年齢に応じた経験を積ませる（環境を通して行う）教育・保育なのです。他を思いやる気持ちは確実に育っていきます。

さらに、全国の多くの実践例から子どもの主体性を生かした保育実践は、利己的な人間が育つのではなく、他者を大切に作る、協調性等が育つことが認められています。（神戸大学大学院人間発達環境学研究所 北野幸子氏講演から）

ただし、子どもの主体性に委ねてばかりでは、身に付かないことがあります。例えば、園では、地震や火事等の災害から身を守る方法、道具の使い方（スプーンや箸、ハサミ等の持ち方・使い方）等は、保育者が積極的に関わるようにしています。